



芝山小だより



夏休み号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

何か一つのことチャレンジしてみよう

校長 寺井 俊敬

今学期も、後半は暑い中での生活が続きました。暑い日には熱中症の心配もありましたが、本日、終業式を迎えることができました。命にかかわるような大きな事故もなく、この1学期を過ごすことができました。これも保護者の皆様、地域の皆様のご協力があったことです。どうもありがとうございました。

明日から夏季休業日です。新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが変わり、初めての夏休みです。人の動きも今まで以上に活発になることでしょう。子供たちには、充実した夏休みを過ごしてもらいたいと思います。充実した夏休みにするために、何か一つでも、いつもと違うことにチャレンジしてみるとよいと思います。

今でこそ泳ぐことは苦になりませんが、もともと私は泳ぐことが苦手でした。それでも、6年生の時、「クロールと平泳ぎ25m泳げるようになりたいな。」とっていました。昔は、夏休みの水泳指導が20日ほどあったかと思います。本当は夏休みの水泳指導に行くのは嫌でした。しかし、クロールと平泳ぎを25m泳ぐために必死に練習しました。そのかいあってか何とか合格することができました。ゴールの壁に手が届いたとき、とても喜んだのを覚えています。そんな泳げない自分だったから、教員になったときに、子供たちには「泳げるようになった」という喜びを味わってほしいと思いました。毎年夏の水泳指導では、泳げない子供がいると、「こうするといいわ。」と一生懸命に声を掛けてきました。泳げなかった子供が泳げるようになったとき、子供と共に一緒に喜んでいました。

今、芝山小では水泳指導を行っていませんが、水泳でなくても、夏休みにチャレンジできることはたくさんあります。その一つは読書です。清瀬市や芝山小のホームページに「本は友だち 清瀬の100冊」として、お薦めの本について掲載しています。本から感動できることもあると思います。「課題図書を読もう」「今まで読んだことのないような長い話に挑戦してみよう」等、読書を継続して頑張る、といった目標を決めてみるのもよいかもしれません。

また、夏休みに取り組んでほしい作文・ポスター等募集一覧を配布いたしました。東京都、清瀬市では、読書感想文コンクールやポスター等の募集をしています。図書館を使った調べる学習コンクールの募集もしています。(募集要項等、芝山小のホームページに掲載しています。)せっかくの長い休みです。普段はできないことでも、夏休みだからこそ、時間をかけて取り組めることがあると思います。何か調べたいテーマを決めて、図書館を使った調べる学習コンクールに応募してみようという目標でもよいかもしれません。何か一つでも、この夏に頑張った、ということがあったら、2学期の生活、学習につながるのではないかと思います。

本日、終業式で子供たちに、交通事故、水の事故、熱中症、不審者に注意することを話しました。また、困ったときには、近くの大人の人に相談するように話しました。2学期始業式、夏休みに何か一つのことチャレンジして、たくましくなった子供たちの元気な姿を見られることを楽しみにしています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

夏季休業中の課題についてのお願い

文部科学省より7月4日付で公表された「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」の中で、【適切でないと考えられる例】として、①生成AI自体の性質やメリット・デメリットに関する学習を十分に行っていない等、情報モラルを含む情報活用能力が十分育成されていない段階において自由に使用すること、②各種コンクールの作品やレポート・小論文等について、生成AIによる生成物をそのまま自己の成果物として応募・提出すること等、があげられています。本校では、夏季休業中、読書感想文コンクール、図書館を使った調べる学習コンクール等の課題を提示しています。

これまでと同様に、夏季休業中の課題には、ぜひ、子供の豊かな発想や感性、一人一人のオリジナリティや独創性を大切に、取り組んでほしいと思っています。